

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)NTB兵庫淡路 新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県淡路市浦字古茂尻678番1外	構造	RC造
用途地域	非線引き区域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年1月13日
敷地面積	2,479 m ²	作成者	積水ハウス株式会社 西日本特建支店 一級
建築面積	853 m ²	確認日	2022年1月13日
延床面積	3,199 m ²	確認者	積水ハウス株式会社 西日本特建支店 一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
一級: シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 67% (123 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 67% (123 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 67% (123 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>淡路市内に建設されるホテルである。 リサイクル材の採用や積極的な緑化により、環境負荷の低減に配慮した建物である。</p>		<p>その他</p> <p>-</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部を大きくとり、昼光利用に配慮している。 居室は細かな点滅区分計画により、照明の制御性に配慮している。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 居室は、ゆとりある天井高を確保し、快適性の向上に配慮している。 耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 LED照明等の高効率な設備機器を導入している。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 消火剤や発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 外構緑化により、熱的な影響の低減を図っている。 渋滞緩和に配慮した駐車場計画としている。 周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される